

つばめ通信

7月号



スラバヤ日本人学校

令和6年7月3日

朝露分けて 蒸騰りぬ プラタスの里に 幾千里 日本生まれの子を励まして われらスラバヤの子 燕に学ぶ 努力の証

ふわふわ言葉とちくちく言葉

校長 福田 栄喜

全校朝会で「ふわふわ言葉とちくちく言葉」について話しました。ふわふわ言葉には【ありがとう、だいじょうぶ、すごいね、よろしくね】などの言葉があります。ふわふわ言葉を言われると、うれしい気持ちになったり、気持ちがよくなりました。ちくちく言葉には【ばか、のろま、だまれ、どっかいけ】などの言葉があります。ちくちく言葉を言われたときは、くやしい気持ちになったり、悲しい気持ちになったりします。子どもたちには「『ふわふわ言葉』をたくさん使ってください。もし、『ちくちく言葉』を言ってしまったときは『ごめんね。』『ごめんなさい。』としっかり謝るようにしましょう。」と話しました。

さて、7月13日は、運動会です。運動会のスローガンは「燃えろ 笑顔集まれ 一致団結」です。子どもたちは、運動会に向けて練習や準備などに一生懸命取り組んでいます。短距離走では、腕をしっかり振って一生懸命に走り、表現では体を大きく動かし、そして応援では、チームや友達の頑張りに全力で声援を送っています。運動会当日は、自分の力を発揮し、みんなで協力し、楽しい運動会になるように頑張ってもらいたいと思います。



保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

